

啓伸塾 便り

LINE復習チャンネル

岐阜新聞 好奇心の種まき 自学ノートを作ろう より

自学ノートの始めの一步。それは、今日の復習からです。子どもたちが人気の復習メニューといえば、漢字の練習。一人でも安心して復習できるからです。復習と言ってもさまざまな方法があります。大切なのは、その復習が何のために行われるかという「めあて」(目標)です。

漢字の練習を通して、学び方を練習します。いつしか英単語の学習にも使えるようになります。そして、算数の計算、数学の文章題の解法を覚えることにも繋がります。

残念ながら、今覚えてたことも、一時間後には、ほぼ半分忘れ、翌日には、約八割も忘れてしまうという研究があります。これでは、せっかく覚えても忘れてはかりでできりありません。

ここで復習の登場です。一日以内であれば、その日の学習内容はしっかりと思い出されます。三日後、一週間後といったように、定期的な繰り返し復習していくと、携帯電話の番号のよう(長期記憶)にインプットされます。復習の大切さが身に染みますね。

さらに効果的なのは、復習する際、自分にテストをするつもりでやることです。覚えてたことを思い出して、記憶から引き出す練習こそ、学習の定着に必要だからです。繰り返しの復習は、子どもにとって面倒くさいもの。復習の価値や学習のめあてを教えること、自分に学べる「という自信を付けさせてあげましょう。

覚えたことを忘れないようにする。学習の定着には復習が必要です。覚えたことを頭に定着させてこそ、問題が解けるようになります。テストで点数が取れるようになります。その復習として取り組むのが宿題です。

授業で教えてもらったことを自分で復習する。その意味がわかってきたら、ぜひ「わかったー!」と満足してあげてください。

繰り返し学習 頭の中にインプット!

小学生の保護者の方へ

小学生のみなさんには、授業の最初に、2問の復習テストを毎回行っています。普段、学校の算数の授業では、最初に計算問題を練習して、その後文章題を行います。例えば、かけ算の単元だと、文章題では、問題に出てきた数字をかければ、ほとんどの問題は正解になってしまいます。ですから、かけ算の意味を理解しないまま済んでしまいます。これは、足し算でも引き算でも、割り算でも同様です。そのため、復習テストではあえて何の計算をして解くのかを考えてもらう問題を出しています。

中学の数学の問題は、小学校の基礎ができていないと、正解を導けません。中学でミスが多い子は、九九や分数・小数等の計算の基礎ができていません。図形や文章問題も、イメージしたり、図形を描いたりして問題の意味を理解しようとするのが文章題を解く上では必要不可欠です。文章を記憶に残そうとすることで理解しながら読む力がつきます。基本を学ぶ小学校は、とても重要な時期なのです。

公立高校の入試問題は、以前と比べだんだん変わってきています。数学では、今までより、長めの文章題になり難易度も高まり、平均点も年々下がってきています。また、社会のテストにおいても、資料の読み取りや構成比などの割合の計算の問題も年々増えてきました。小学生のうちから文章問題の練習をしていけば、中学になって、高校入試の際も、確実にできるようになります。自主勉も宿題もしない状態では、文章を読む力、へこたれずに頑張る取り組み力が育つはずありません。「めんどくさい」という言葉をよく聞きます。これは社会では通用しません。

わからない問題に出あったら、その問題の解き方がわからないのか、それとも問題の意味がわからないのかを見極める必要があります。文章を理解することは、勉強のためだけでなく、社会に出るためにも重要なことなのです。

生徒のみなさんの途中計算を見させてもらうと、何がわかっていないのかがよくわかります。400点以上取る子でも、うっかりミスがあります。それに気づいて理解してもらうことが、塾の役割だと思っています。

保護者の方は、お子様が、わからない問題を質問してきたら、問題の意味がわからないのか、その問題の解き方がわからないのかをしっかりと見極めてから、教えてあげるようにして下さい。

頭ごなしに叱るのではなく、寄り添ってあげて下さい。

9月の予定

中3生入試対策講座

9月10日(土)午後1時30分より毎週土曜日開始いたします。夏期講習から始まった受験勉強が本格化します。ご予約ください。

第2回漢字検定

10月21日(金)第2回漢字検定を行います。締め切り日 9月13日(火)です。中3生は高校受験での願書に載せられる最後のチャンスになります。特に中3生は、受験勉強の一環として受験してみてください。

祝日の授業について

9月19日(月)敬老の日・23日(金)秋分の日は、小・中学生とも授業を行います。ご予約ください。

9月(長月) September

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、新入塾生募集中

苦勞して出来るようになったことが、復習しないでそのままにしておくと、いままでの苦勞が水の泡です。努力して覚えたことを自分の力にするために、復習があるのです。その復習の手段が宿題です。

期末テストが終わって

斎藤孝氏の文章より

読書の効用については、今までもいろいろ言われてきたのでみなさんご存知だと思いますが、あえてここで繰り返します。読書の効用とは、思考力を伸ばし、想像力を豊かにし、苦しい時でも前進する力をくれる。自己を形成し、人生を豊かにするのに欠かせないのが読書です。

これらの読書の効用は、学力向上にも欠かせないものです。読書しなくても、ネットで文章を読んでいるから、読書と一緒に思う人がいるかもしれませんが、それは大違いです。

ネットでは、自分に都合の良いもの、面白いものだけを、次から次へと、パッと飛ばし読みしてしまいます。音楽でもインポートから聞かず、サビの部分だけしか聞かない、ということになります。ネットの文章を読んでも、じっくりと読んで、我慢強く考えるということをしなくてはいけません。これは読書ではなく消費です。それで、冒頭のような、読書によって身に付く力は、読書をしなくても身に付かないということなのです。

学力の向上に必要な力、想像力・思考力・忍耐力、これらの力は、読書なくして身に付くものではありません。

今回の中学生の期末テストの勉強の様子を見ていても、あまり考えずに質問してきたり、問題文がしっかりと読めていないので正解できないという子が、少なからず見受けられました。

心当たりの人は、読書(じっくりと文章を読むこと)を心がけてみましょう。